

米国の選抜性の強い大学に おける多面的・総合的な 評価の事例

1. 各大学の共通的特徴

選抜性の非常に強い私立大学

- アイビー・リーグに代表される選抜性の非常に強い私立大学では、志願者からの提出書類に基づく総合的な評価により合否を決定している。
- 各大学により詳細は異なるが、一般的には、高等学校の成績、共通テスト(SAT又はACT)のスコア、推薦書、エッセイ、課外活動等の記録などを総合的に評価している。

選抜性の強い州立大学

- 選抜性の強い州立大学においては、一般的に、高等学校の成績及び共通テスト(SAT又はACT)のスコアにより合否を決定している。
- 医学特別進学課程などの特別なコースの志願者やボーダーラインにいる志願者については、推薦書やエッセイ、課外活動等の記録などを加味して判断する場合もある。
- マイノリティや経済的に恵まれない者、障害を有する者等の受入れには配慮。

2. 各大学の事例(選抜性の非常に強い私立大学)

1. ハーバード大学(私立)

- ・ THE世界ランキング(2014-2015)第2位
- ・ 志願者34,303名、合格者2,076名(6.1%)、入学者1,664名、在学者6,610名(2012年)
- ・ 6年以内での卒業率97%
- ・ 入学審査業務に関わるアドミッション・オフィス職員は32~33名

[出願要件等]

- ・ アドバンスト・プレイスメント(AP)や国際バカロレア(IB)等を含む大学進学予備プログラムの修得を推奨。
- ・ 高校において、英語(4単位)、数学(4)、科学(4)、社会科学(3)、歴史(2)、外国語(4)を含む21単位以上の修得を推奨。

[出願書類等]

- ・ SAT又はACTの成績(SAT II 2科目を含む)、高校3年生前期の成績、高校の内申書、教師の評価書(2名分)、大学共通願書(エッセイを含む)、大学独自の願書

[合否判定方式]

- ・ SAT又はACTの成績、高校の成績、教師の評価等を総合的に判断(それぞれの得点化はしない)。
- ・ 個々の選抜資料についての明確な重み付けは設定されていないが、高校の成績、教師による評価、SAT/ACTの得点の順で重要とされる。
- ・ 教師による評価では、主に学習への姿勢、他の学生との関わり方、運動能力・芸術など得意な才能についての情報を重視。
- ・ 2名の職員による評価を経て、数名からなる小委員会で合否の仮決定を行い、最終的に30名の全職員による委員会で投票により決定。

2. プリンストン大学(私立)

- ・ THE世界ランキング(2014-2015)第7位
- ・ 志願者26,664名、合格者2,094名(7.9%)、入学者1,357名、在学者5,255名(2012年)
- ・ 6年以内での卒業率96%

[出願要件等]

- ・ 高校において、英語(4単位)、数学(4)、科学(4)、社会科学(2)、歴史(2)、外国語(4)を含む21単位以上の修得を推奨。

[出願書類等]

- ・ SAT(SAT Subject Tests2科目を含む)又はACTの成績、高校の成績証明書、高校の内申書、教師の評価書(2名分)、大学共通願書(エッセイを含む)、大学独自の願書

[合否判定方式]

- ・ SAT又はACTの成績、高校の成績、教師の評価等を総合的に判断(それぞれの得点化はしない)。
- ・ 個々の選抜資料についての明確な重み付けは設定されていない。

3. ブラウン大学(私立)

- ・ THE世界ランキング(2014-2015)第54位
- ・ 志願者28,742名、合格者2,759名(9.6%)、入学者1,539名(2012年)
- ・ 6年以内での卒業率95%
- ・ アドミッション・オフィスの総職員数37名
(うち、直接入試に関わる者は約20名)

[出願要件等]

- ・ 高校において、英語(4単位)、数学(4)、科学(4(実験科学3を含む))、歴史(2)、外国語(4)、音楽・美術(1)、その他(1)を含む20単位以上の修得を推奨。

[出願書類等]

- ・ SAT又はACTの成績(SAT II 2科目を含む)、高校3年生前期の成績、高校の内申書、教師の評価書(2名分)、大学共通願書、大学独自の願書(エッセイを含む)

[合否判定方式]

- ・ SAT又はACTの成績、高校の成績、エッセイ、教師の評価等を総合的に判断(それぞれの得点化はしない)。
- ・ 個々の選抜資料についての明確な重み付けは設定されておらず、3人の職員それぞれが合否を総合的に判断。最終的には、この評価を参照しつつ20名で構成される委員会における投票によって合否を決定。
- ・ 高校における履修科目のレベルの高さ、アドバンスト・プレイスメント(AP)や国際バカロレア(IB)等を含む大学進学予備プログラムの成績を最重要視。
- ・ SAT等は家庭の経済状況の影響を受けることも審査の際に考慮。
- ・ 学生集団の多様性確保には配慮(ただし特別の基準、枠等は設けず)。

4. シカゴ大学(私立)

- ・ THE世界ランキング(2014-2015)第11位
- ・ 志願者25,268名、合格者3,340名(13.2%)、入学者1,527名、在学者5,587名(2012年)
- ・ 6年以内での卒業率92%

[出願要件等]

- ・ 高校において大学準備プログラムの英語(4単位)、数学(3又は4)、実験科学(3又は4)、社会科学(3以上)、外国語の修得を推奨。

[出願書類等]

- ・ SAT又はACTの成績(SAT II 不要)、大学共通願書、大学独自の願書(エッセイを含む)、学業成績証明書、教師の評価書(2名分)、高校の内申書

[合否判定方式]

- ・ エッセイ、推薦書、学業成績証明書、課外活動の記録、SAT又はACTのスコア等、志願者の提出書類を包括的に審査

(合否判定項目の重要度)

	非常に重要	重要	考慮対象
人物/個人的資質	○		
推薦書	○		
高校クラスの順位		○	
課外活動		○	
SAT/ACTスコア		○	
ボランティア経験			○
就労経験			○

3. 各大学の事例(選抜性の強い州立大学)

1. ペンシルバニア州立大学(ユニバーシティパーク校)

- ・ THE世界ランキング(2014-2015)第58位
- ・ 志願者47,552名、合格者25,722名(54.1%)、入学者7,650名、在学者38,548名(2012年)
- ・ 6年以内での卒業率86%
- ・ アドミッション・オフィスの総職員数55名

[出願要件等]

- ・ 高校において英語(4単位)、数学(3)、科学(3)、社会科学(3)、外国語(2)を含む合計15単位以上の修得が必要。
- ・ アドバンスト・プレースメント(AP)や国際バカロレア(IB)等を含む大学進学予備プログラムの修得を推奨。

[出願書類等]

- ・ SAT又はACTの成績、高校の成績証明書、大学独自の願書(エッセイを含む)

[合否判定方式]

- ・ 高校の成績を2/3、SAT又はACTの成績を1/3の比重で得点化し、一定の基準以上の者を合格判定。
- ・ 高校の成績の評価においてAPやIB等の成績があれば加味。
- ・ 高校の成績の学校間格差の調整は行わず。
- ・ SAT等の成績よりも高校の成績を重視するのは、
 - ①1日の試験の結果より長い時間をかけて得たものを重視
 - ②裕福な家庭の子弟はSAT等の準備コースに入り対策を講じており、SAT等の成績は家庭の経済状況の影響を受けることなどが理由。
- ・ 優等学位プログラムや医学特別進学課程を希望する入学志願者の場合は、エッセイや教師の評価書、奉仕活動の経験等も加味して合否判定。

2. マサチューセッツ大学(アマーست校)

- ・ THE世界ランキング(2014-2015)第91位
- ・ 志願者34,326名、合格者21,470名(62.5%)、入学者4,592名(2012年)
- ・ 6年以内での卒業率70%
- ・ マサチューセッツ州の州立大学

[出願要件等]

- ・ アドバンスト・プレースメント(AP)や国際バカロレア(IB)等を含む大学進学予備プログラムの修得を推奨。
- ・ 高校において、英語(4)、数学(3)、科学(3)、社会科学(2)、歴史(1)、外国語(2)、その他(2)を含む16単位以上の修得を推奨。
- ・ GPAのスコアは、2.0以上を要求。3.0以上推奨。

[出願書類等]

- ・ SAT又はACTの成績、成績証明書、高校の内申書、大学共通願書(エッセイを含む)、大学独自の願書

[合否判定方式]

- ・ 高校の内申書及び成績を最も重視。SAT又はACTの成績、エッセイ、推薦書も考慮。

4. 各大学の入学者選抜に関する入試担当者のコメント

1. ハーバード大学(選抜性の非常に強い私立大学)

- 我が校の入学審査の考え方や理念は、どの学生が、在学中や卒業後に何をするかについて検討するというものであり、つまり将来を見据えた考え方です。各学生がキャンパスに何をもちこたすのか、ここで教育資源をどのように活用するのか、そして将来、自分だけでなく他者のために、受けた教育をいかに活用するのかを検討します。
- (試験の得点で合否を決定する方法について)用いません。高等学校で得られる機会には大変大きな差があるからです。全員が同じ試験を受ける場合、教材の半分しか学習していない学生がいて試験の得点が低くても、教材をすべて学んでいるが創造性が低く、異なる領域を統合することができない学生より将来有望である可能性があります。我が校にとって優れた学生を真に選び出すような試験は存在しません。
- (追跡調査により)学生の成績を見て、入学時にどのように評価したかを見直すことができます。その調査により、高校での日々の成果が最も重要であることが示されています。
- 2番目に有用な情報は、教師による推薦状です。教師は学生を実際に指導したのですから。我々は、学生の感性や精神の質についてのコメントを教師に求めます。学生が賢明に勉強し、極めて協調性が高く、すばらしい創造力を持つと教師が評価する場合、推薦状に例を示すよう求めます。
- 成功との相関性が3番目に高い情報は、ETSの教科別の試験結果です。SAT1とSAT2があります。SAT2では、数学や英語でも良い生物学やスペイン語などを受けることができます。これらは我が校での成功と極めて高い相関性を示します。
- ハーバード大学のような私立大学では、大学自身の意思決定で動くことができます。ハーバード大学ではエクセレンスの定義が異なります。カリスマ性が高いだけの学生でも偉大なことを成し遂げるであろうと期待される学生を受け入れてきました。これらの学生の学業成績は最高水準というわけではありませんが、校内やコミュニティに良い影響を及ぼす触媒となる可能性があるため、そのような学生を受け入れていきます。とすれば、同じ学校で成績が上位の誰かが不合格となるでしょう。そうです。不合格となった学生の家族は公平でないと主張しますが、それが我々の決定なのです。

2. ブラウン大学(選抜性の非常に強い私立大学)

- 入学審査の観点からは卓越した学生集団を形成しようと努めています。我々は、多様な学生集団、この国や世界の多様性を反映し、異なる背景、異なる経験や価値観、信念を持つ学生から成る学生集団を形成したいと考えています。
- 入学審査に関し、統計的なカットオフポイントはありません。我々は、試験での得点や評価などの定量化可能なものから、学生に対する教師の評価などの定量化不可能なものまで、客観的及び主観的な質を評価します。
- 中等教育レベルの教師に学生に関する推薦状を書いてもらいます。本校に出願した全学生が面接を受けます。学生に自己紹介文を書いてもらいます。どの学生が学術的に優秀であり、同時に本校の環境下で十分に成功するであろう個人的な技能やリーダーシップ、独創性、野心、または創造性をもたらすかを見極めたいと考えています。
- SAT試験のシステムは、家庭の裕福さに比例します。学生の家庭が裕福であるほど、試験での得点は高くなります。裕福であれば、授業以外にも試験の準備として多くの指導が行われ、試験の成績が高くなります。素質はあっても経済的に裕福でない多くの学生は、そのように準備に費やす余裕がありません。我々は、学生が有する様々な可能性を取り入れようと試みています。
- 追跡調査として、誰が我が校に合格し、誰が我々の申し出を受け入れ、誰が我々の申し出を拒否して他の大学へ進んだかについて、多くの調査を行っています。

3. ペンシルバニア州立大学(選抜性の強い州立大学)

- 我々のシステムでは、高校の成績が評価の3分の2を占め、試験での得点や他の要素は3分の1に過ぎません。我々は、1日の試験より、学生が長い時間をかけて何を得たかに価値を置きます。
- 我々は長年この仕事に携わってきました。学生が大学で成功するか否かの予測において、高校の成績が優れた指標であることが、長年の間に分かってきました。
- 米国の親は子供たちをSAT準備コースに入れ、そこで子供たちは、どのように試験を受け、成功するかについて教え込まれます。米国には、試験の準備に関わる巨大な産業があります。長年存在してきた産業であり、通常は比較的裕福な家庭を対象としています。これらの試験準備コースの中には、費用がかなりかかるものもあります。
- 高校の成績の評価においては、学生がどのように自身の限界に挑戦したかについても検討します。アドバンスト・プレイスメント科目の履修や優等学位、高校での履修課程などがあれば、審査で肯定的に評価されます。
- 学生が工学や科学を学びたい場合、数学のSATスコアが他よりやや重要視されるでしょう。つまり、微妙なさじ加減があるのです。
- 多様性は、経済、国際性、性別、人種、宗教など、あらゆる意味で極めて重要です。本学にとって、多様性はあらゆる側面において重要です。